

NPO活動から見る多摩（多摩ニュータウン）

2011年4月16日 多摩学研究会
学長室 山本紀子

1. 全国、東京都、神奈川県、埼玉県と多摩地域のNPO法人数

- ・NPO法人の数
- ・NPO法人の活動分野別数

2. NPOフュージョン長池設立の経緯とこれまでの活動

- ・活動地域ときっかけ
- ・活動拠点としての八王子市長池公園自然館と長池公園の写真
- ・NPOフュージョン長池設立まで－①
- ・NPOフュージョン長池設立まで－②
- ・NPOフュージョン長池の事業概念（2003年1月設立のNPOフュージョンも含む）
- ・NPOフュージョン長池の主な暮らしの支援事業
- ・NPOフュージョンの主な事業－①
- ・NPOフュージョンの主な事業－②

3. NPO活動を通して実感したことと課題

- ・NPOフュージョン長池とのかかわり
- ・「フュージョン長池公園」のボランティアと有給スタッフ
- ・課題1 NPO法人の事業活動とボランティア
- ・課題2 NPO法人の事業活動と再委託について
- ・課題3 NPO法人の事業活動と寄付
- ・課題4 NPO法人への就職－①
- ・課題5 NPO法人への就職－②
- ・期待されるNPO活動を担う人材

1. 全国、東京都、神奈川県、埼玉県と多摩地域のNPO法人数

・NPO法人の数

1998年12月1日～2011年3月13日現在 認証数(内閣府NPOホームページより)

- ・全国 41,864
- ・東京都 6,762(全国最多)
- ・神奈川 2,637
- ・埼玉 1,495

・多摩地域 2,389
(東京都+神奈川県+埼玉県の多摩地域を抽出
3都県の全部の法人数の約22%)

北多摩郡 (現在の武蔵村山市・東大和市・東村山市・清瀬市・東久留米市・西東京市・昭島市・立川市・国立市・小平市・国分寺市・小金井市・府中市・三鷹市・武蔵野市・調布市・狛江市及び世田谷区の西部)
西多摩郡 (現在の青梅市・福生市・羽村市・あきる野市と瑞穂町・日の出町・奥多摩町・檜原村)
東多摩郡 (現在の中野区、杉並区)
南多摩郡 (現在の八王子市・町田市・日野市・多摩市・稲城市)

川崎市(多摩区・麻生区・宮前区・高津区)
横浜市(青葉区・緑区・都筑区)
相模原市

所沢市、狭山市、入間市、川越市

全国NPO法人認証数の推移(NPO法人シーズ NPOWEBニュースより)

1998年12月1日: 特定非営利活動促進法(NPO法)施行

1999年11月26日: 1,000法人突破

2001年10月5日: 5,000法人突破

2003年2月末日: 10,000法人突破

2005年1月末日: 20,000法人突破

2007年1月末日: 30,000法人突破

2010年5月末日: 40,000法人突破

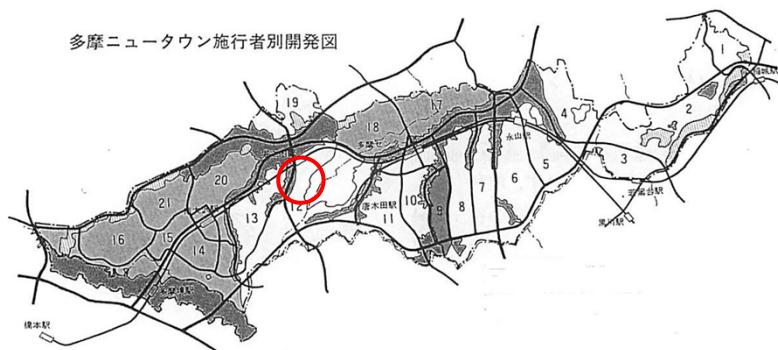
・NPO法人の活動分野別数(内閣府NPOホームページより複数回答可で集計)

活動分野	全国	東京都	多摩地域
1.保健・医療又は福祉の増進を図る活動	23,985	3,443	1,546
2.社会教育の推進を図る活動	19,286	3,590	1,266
3.まちづくりの推進を図る活動	17,261	2,605	912
4.学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動	13,945	2,461	820
5.環境の保全を図る活動	12,003	1,655	601
6.災害救援活動	2,639	375	113
7.地域安全活動	4,250	561	192
8.人権の擁護又は平和の推進を図る活動	6,622	1,086	384
9.国際協力の活動	8,109	1,994	490
10.男女共同参画社会の形成の促進を図る活動	3,487	577	244
11.子どもの健全育成を図る活動	17,316	2,548	1,074
12.情報化社会の発展を図る活動	3,804	649	178
13.科学技術の振興を図る活動	2,135	432	101
14.経済活動の活性化を図る活動	6,148	896	248
15.職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動	8,540	1,192	409
16.消費者の保護を図る活動	2,481	405	116
17.前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動	19,266	4,251	1,345

2. NPOフュージョン長池設立の経緯とこれまでの活動

・活動地域ときっかけ

多摩ニュータウン、八王子市域のライブ長池地区で現NPOフュージョン長池の理事長富永一夫さんが団地の管理組合の役員を引き受けたことがきっかけで近隣団地の管理組合役員との情報交換を始めた。人の繋がりが希薄な団地に災害時や老後の危機感を持ち、サラリーマンの週末を利用してコミュニティ活動を開始。インターネットを使うことで活動の輪が広がり、活動を通じて出会った大学やシンクタンクの専門家の助言を得て、ボランティアなコミュニティ活動から継続性のある地域貢献型事業を生み出すことを決意。外資系の企業を退職して地域活動に専念。地域のお父さんたちを中心とした65名の会員で暮らしの支援事業をミッションとしてNPO法人を設立。キーワードは出会いと繋がり。



八王子市長池公園自然館



長池



長池見附橋



筑池



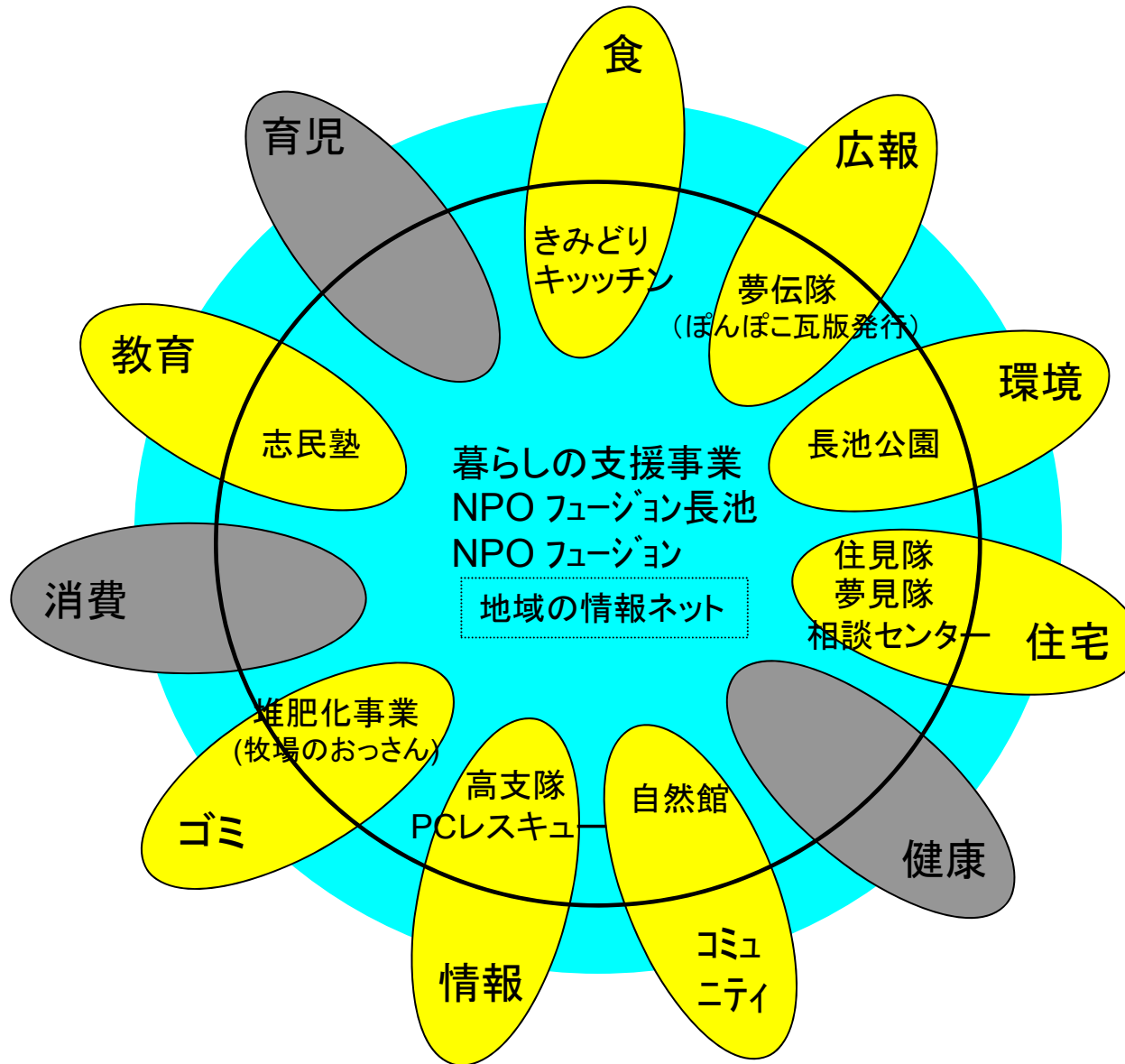
・NPOフュージョン長池設立まで①

1995年	阪神・淡路大震災の教訓から近隣の5団地で情報交換会を開始。見附ヶ丘連絡協議会へ発展。
1996年	見附ヶ丘連絡協議会の各団地ごとに夏祭り「見附ヶ丘フェスティバル」を同時開催。
1997年 8月	長池公園見附橋下の姿池で見附ヶ丘連絡協議会の5団地で「第2回見附ヶ丘フェスティバル」を開催。せいがの森保育園との連携でトイレを借用。>>>毎年開催されており、現在は近隣の参加団地も増え、約4500人が集まる夏祭りに発展している。
1997年 9月	多摩ニュータウン事業着手から30周年にあたり、多摩センターに巨大な繭ドームを公団が仮設。そこでのシンポジウムで多くの出会いがあった。多摩大学、多摩ニュータウン学会、ラクーン多摩(地元のIT企業)、牧場のおっさん(地元で酪農と農業を営む)等。>>>ラクーン多摩からインターネットやメーリングリストの提供を受けて、いっきにコミュニティ活動が活性化した。
1998年	長池公園を中心とした地域で多くの地域活動が行われるようになった。地域広報誌の発行、長池里山活動、わが町の芸術家作品展、PCレスキュー、長池街並み見学会、スポーツ大会、ディナーパーティ、鉄道倶楽部、焼き鳥倶楽部、芝刈り倶楽部等。

・NPOフュージョン長池設立まで②

1998年3月	NPO法案が国会を全会一致で通過
1998年10月	盛り上がったボランティアなコミュニティ活動を継続して地域貢献できる事業活動とするためNPO設立を決意。
1999年4月	長池小学校で「NPOフュージョン長池」の設立総会開催。理事長兼事務局長に富永一夫さんが会社を退職して就任。
1999年12月	「特定非営利活動法人NPOフュージョン長池」の登記完了。当時のNPO法で定められた12分野全てを対象として暮らしの総合支援活動を定款に定めた。
2000年1月	長池学童クラブの中に事務所スペースを間借りしてNPO法人として活動開始。

・NPOフュージョン長池の事業概念(2003年1月設立のNPOフュージョンも含む)



・NPOフュージョン長池の主な暮らしの支援事業

1995年 ～	住宅 住見隊	集合住宅の管理について、適正な価格とクオリティで運営できるようにコンサルティング。>>>団地管理組合から受託できたのは2団地のみとなり現在は活動を休眠。
2000年	情報 高支隊	ブローバンドの誘致を東京メタリック通信とのタイアップで推進。>>>大手の通信企業に買収されたが誘致は達成。
2000年	住宅 夢見隊	土地の購入から設計、工事と全てを参加者が建設組合を設立して話し合いで決定し、夢の住宅を手に入れるコーポラティブ住宅の建設をコーディネートする。>>>困難をきわめたが4年の歳月をかけて実現。
2001年 7月～	コミュニティ 自然隊	八王子市長池公園自然館の管理運営を受託。地域密着型のNPO法人ならではの企画を実現していくなかでマスコミからも注目を集め様々なメディアでとりあげられるようになった。
2006年 4月～	指定管 理者	地方自治法の改正を経て施行された指定管理者制度を受けて八王子市のコンペに応募。NPOフュージョン長池は株式会社富士植木と株式会社プレイスとで任意団体「フュージョン長池公園」を設立し、自然館をふくむ長池公園20haの指定管理者となった。>>>現在は2014年までの第Ⅱ期の指定管理者として長池公園の管理運営をおこなっている。

・NPOフュージョンの主な事業－①

長池公園を中心とした地域で展開してきた暮らしの支援事業を多摩ニュータウン全域を対象として展開するために特定非営利活動法人「NPOフュージョン」を2003年1月に設立

2003年	国土交通省	「多摩ニュータウン住宅実態調査」を受託 多摩ニュータウンの人口調査と住民の住み替えニーズ調査を行い、多摩ニュータウンがオールドタウンというマスコミ報道のイメージが偏ったものであることを実証。
2005年	国土交通省住宅局	「都市再生モデル調査」受託 多摩みんなでつくる暮らしの安心づくり産業のための基礎調査
2005年 4月	多摩市	多摩NPOセンターの管理運営を受託 多摩市内のNPO活動を支援するセンターとして廃校となった旧西永山中学の校舎を利用した西永山複合施設の2階に設置された多摩市の施設。>>>2009年3月31日で終了。
2006年	国土交通省	「暮らしと住まい相談センター」開設。 京王プラザホテル多摩の一角に住み替えにともなう様々なお困りごとの第一次的相談受付窓口を開設。>>>補助金がなくなり2年で終了。志は京王電鉄の「ほっとネットワーク」に受け継がれている。

・NPOフュージョンの主な事業－②

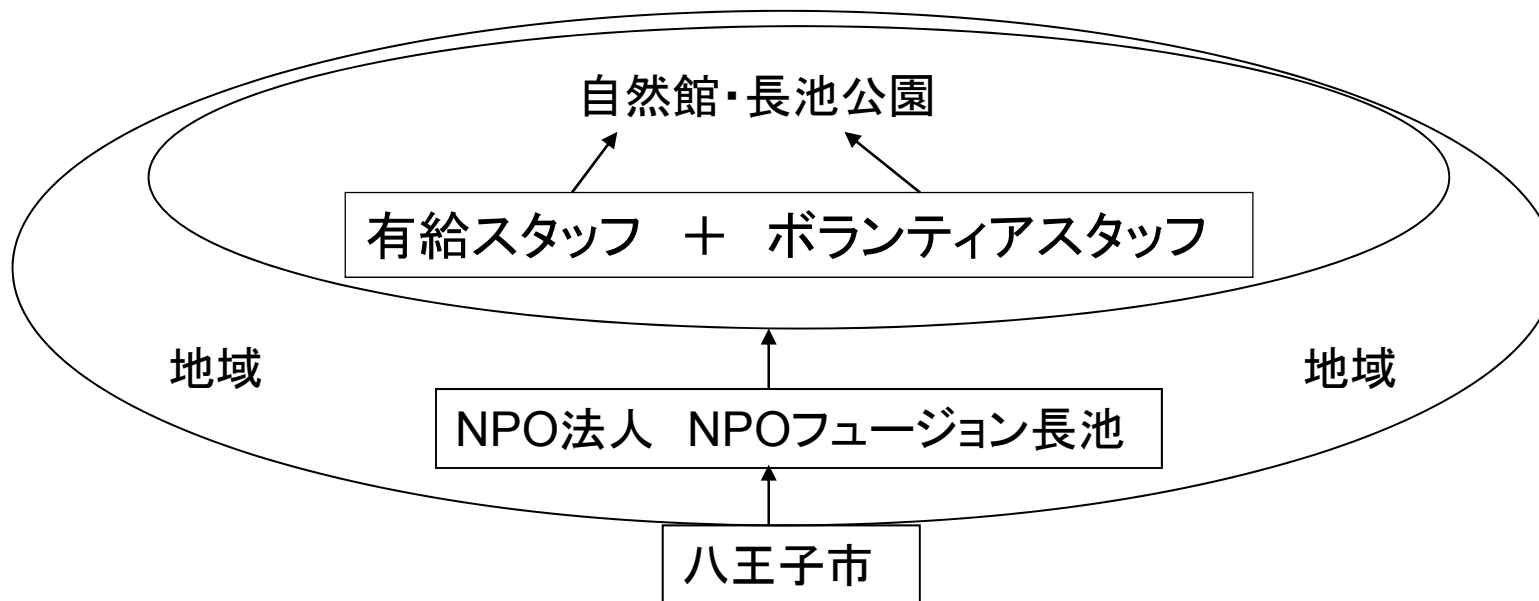
2006年	NPOフュージョン研究所	<p>「第1回ニュータウン人縁卓会議」を実施。</p> <p>千里、高蔵寺、筑波研究学園都市のニュータウンで活動しているNPO人が一同に会して活動報告と情報交換会を京王プラザホテル多摩で実施。>>>その後2年ごとに各ニュータウン持ち回りで実施、報告書を作成。</p>
2008年	ケイ・エイチ テリカ 《(株)カゴメとヒライ》	<p>「きみどりキッチン」開店支援</p> <p>(株)カゴメと九州の惣菜事業者のヒライのタイアップで多摩ニュータウンに惣菜とお弁当の店を開店。周辺競合店の調査やスタッフの募集などを受託。>>>現在は多摩センターのほかにつつじヶ丘に2号店がオープンしている。</p>
2009年	八王子市	<p>「はちおうじ志民塾」企画、講師受託</p> <p>団塊の世代、中高年を地域社会の担い手、リーダーとして育成する講座</p>
2009年	早稲田総研	<p>ソーシャルビジネス研究会</p> <p>NPOフュージョン長池とNPOフュージョンの暮らしの支援事業をソーシャルビジネスという概念でテキスト化。また全国の地域活性化の事例をテキスト化。</p>

3. NPO活動を通して実感したこととこれからの課題

・NPOフュージョン長池とのかかわり



・「フュージョン長池公園」のボランティアと有給スタッフ

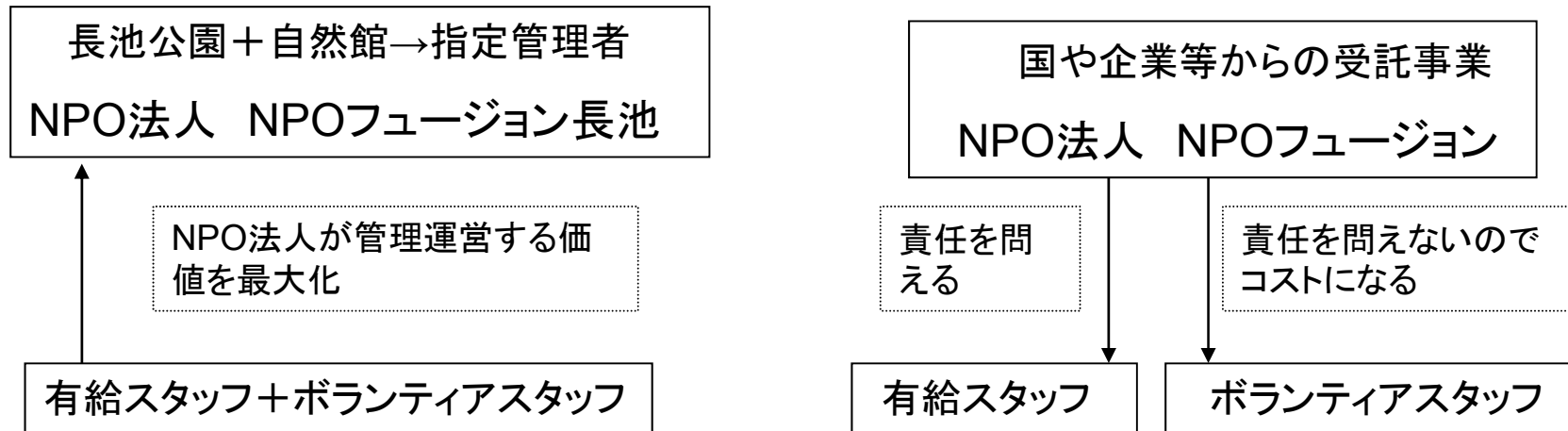


NPO法人ではボランティアと有給スタッフが同じところで一緒に働くことができる

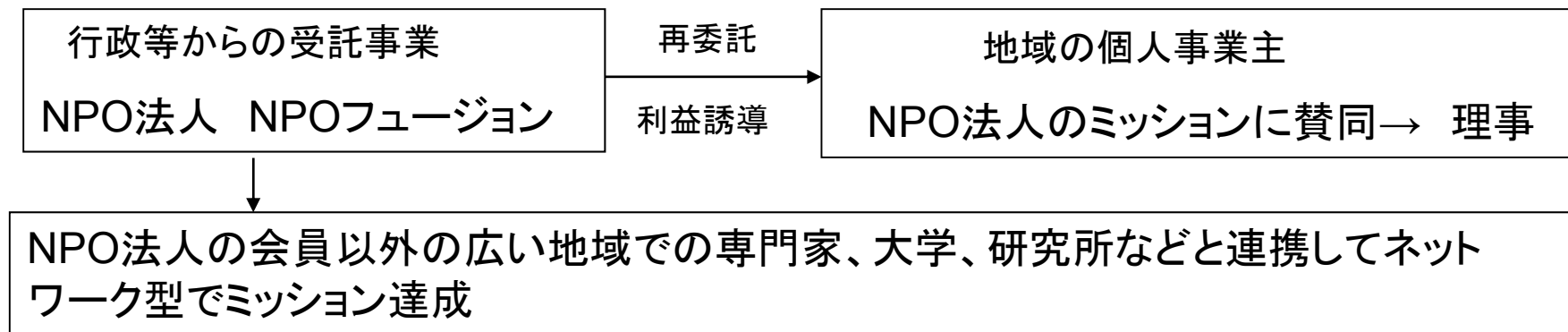
2009年度 ボランティア時間	2009年度 有給スタッフの労働時間
延べ人数 4,883人/年 延べ時間数 約28,507時間/年	延べ時間数 約18,000時間/年

有給スタッフの労働時間がボランティア時間の半分以上 → ボランティアの受け入れが可能

・課題1 NPO法人の事業活動とボランティア

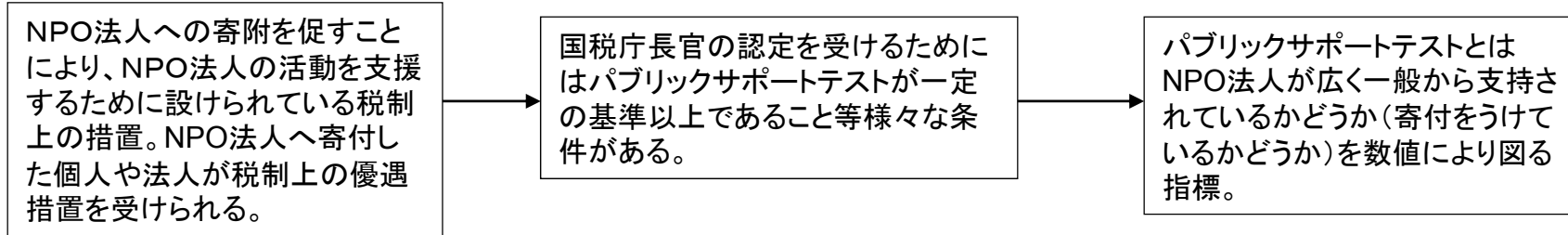


・課題2 NPO法人の事業活動と再委託について

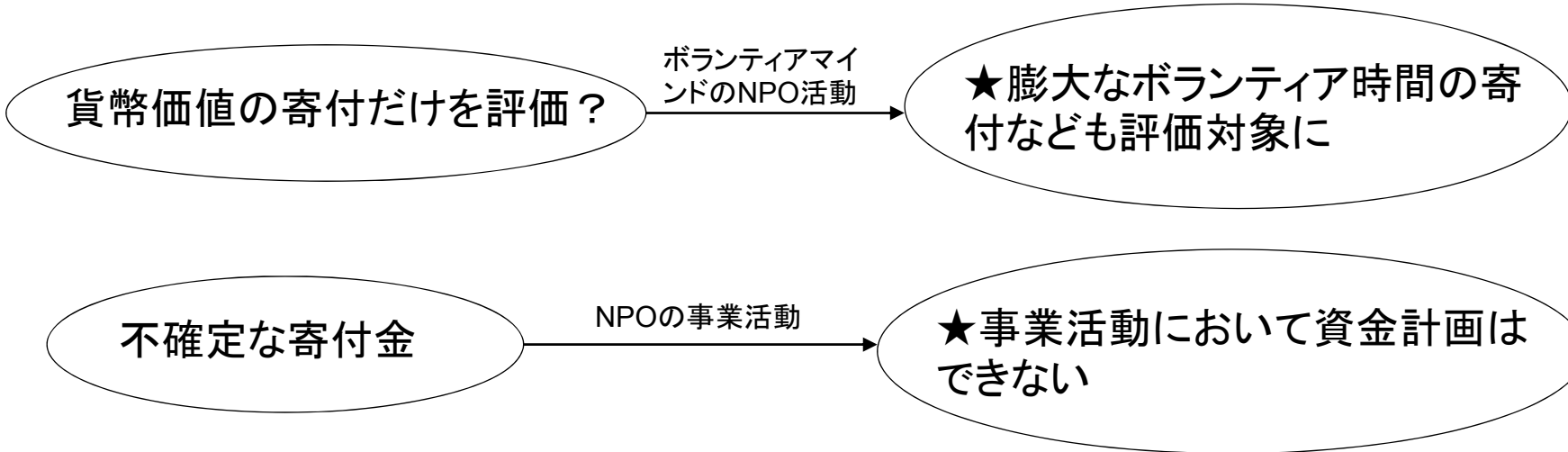
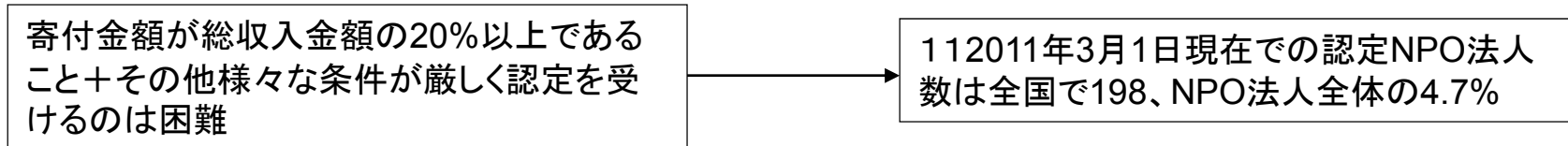


課題3 NPO法人の事業活動と寄付

NPO法人を評価する指標の一つが、認定NPO法人



$$\text{受け入れ寄付金総額} - \text{控除金額} + \text{社員の会費} \div \text{総収入金額} - \text{控除金額} = 1/5$$



・課題4 NPO法人への就職①



「NPOキャリアフォーラム東京」
日時：2011年2月19日
場所：法政大学市ヶ谷キャンパス

NPO・NGOへの就職・転職を希望者対象の合同説明会

首都圏 NPO・NGO 24団体が参加。

求職者350名 参加。(就職活動中の大学生も含めて)

各ブースで活動内容・労働条件 説明

例：NPO法人ACE
インドとガーナで子どもたちを危険な労働から守る活動をしている認定NPO法人

求める人材

雇用とボランティアは別物

経理や労務の専門家

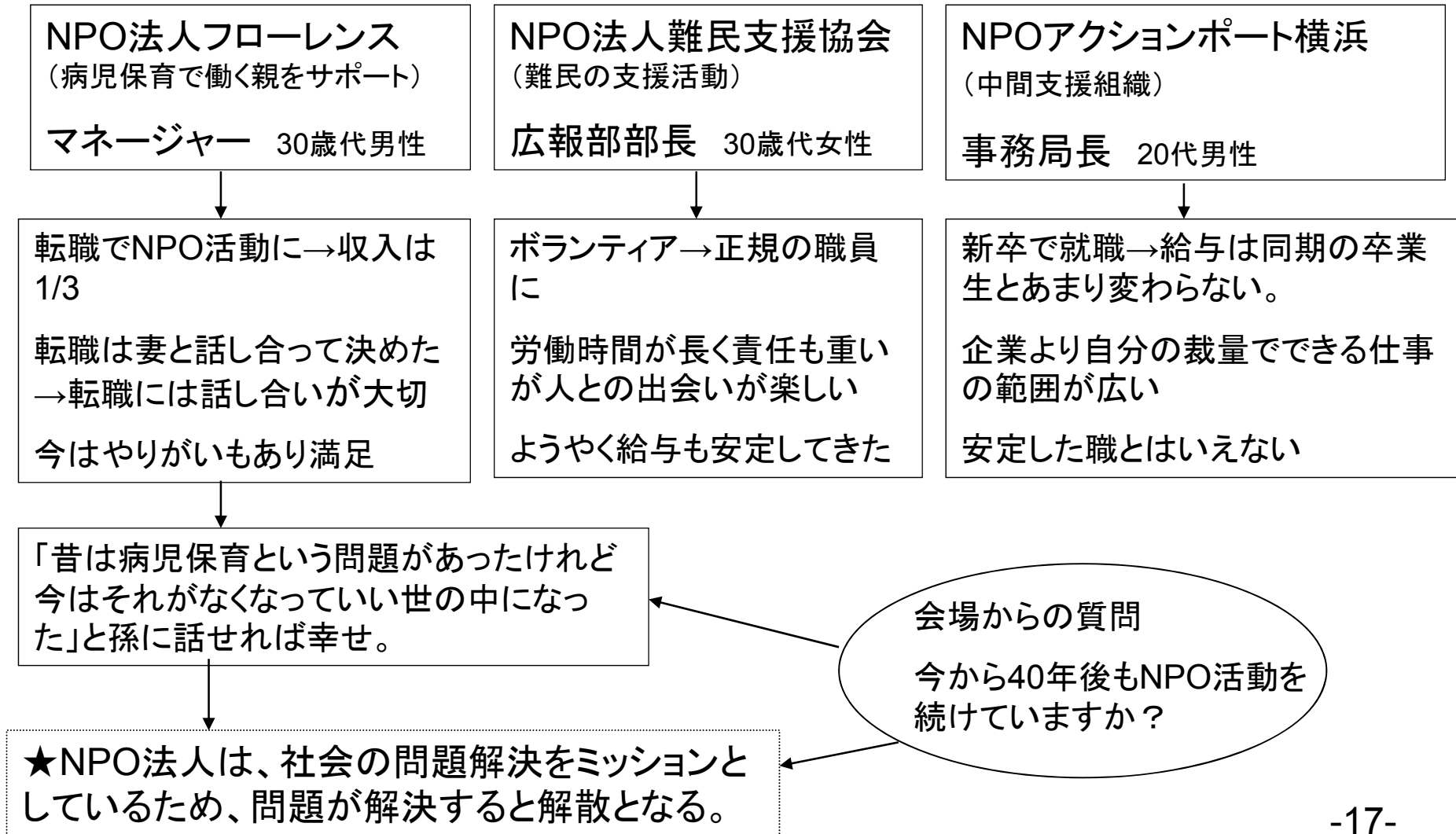
ボランティアやインターンシップは別働隊として歓迎

ミッションがなにより優先

給与は16万 賞与なし

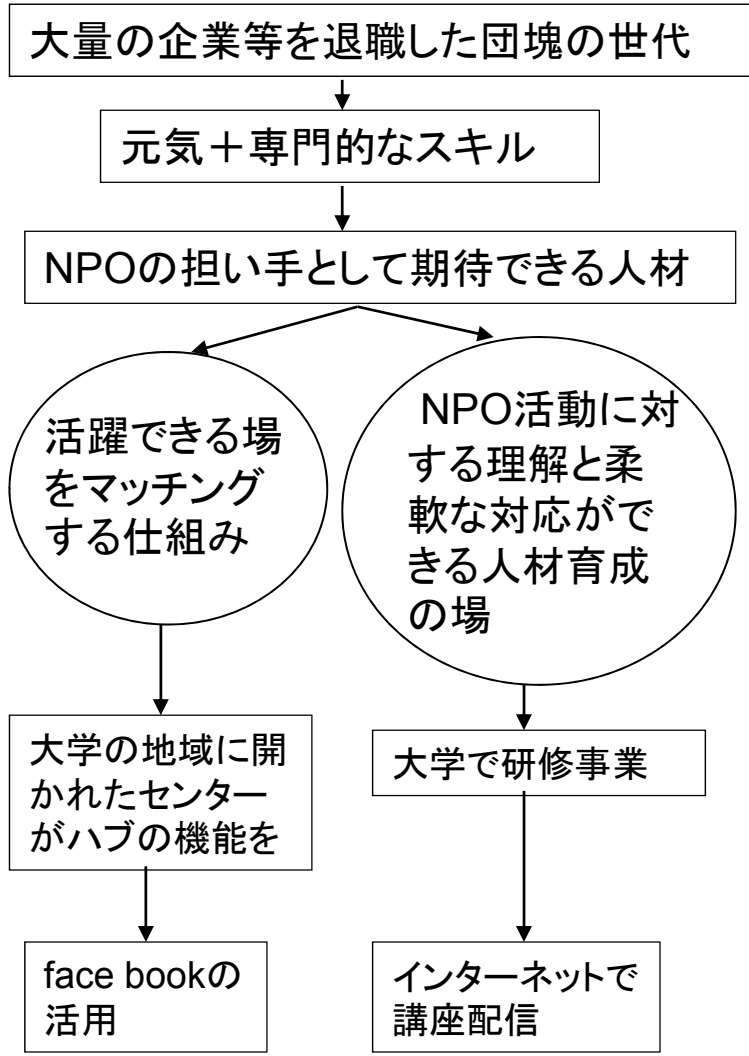
・課題5 NPO法人への就職ー②

NPOスタッフの「想いと本音」(於:「NPOキャリアフォーラム東京」セミナー)



・期待されるNPO活動を担う人材

・団塊の世代をNPO活動の担い手に活用



2005年度国勢調査より

我が国の人口ピラミッド (平成17年10月1日現在)

